

「ISO14001」認証取得のお知らせ

… 「地縁ストア」として、持続可能な循環型社会実現のために …

当社では、このたび、本社および下記5店舗におきまして、環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を取得いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、1991年より京葉地区50店舗での牛乳パックの回収を始め、翌1992年には、全店で回収を行い、1993年には、全店で食品トレイの回収をスタートいたしました。また店頭で回収した牛乳パックやアルミ缶のリサイクル資源売却益を「マルエツ緑化資金」として、出店地域の緑化事業など、地域に根ざした地道な環境活動を行なっております。

2004年には、「環境委員会」を立ち上げ、更に05年9月からはISO推進委員会を設置し、全社を挙げて環境保全活動に取り組んでまいりました。

2006年8月には、新たに制定した「マルエツ環境方針」(※次頁をご参考ください)では、地域に密着したフレンドリーな「地縁ストア」として、持続可能な循環型社会実現のために、環境保全活動を積極的に推進し、汚染の予防と継続的改善に努めることを宣言いたしました。

この方針に基づき、全社で、最終的な廃棄物を削減するための3R<リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)>を積極的に推進しております。

今回の認証取得を通じて、これまで以上に良き企業市民として地域や社会の環境保全活動を推進するとともに、今後「ISO14001」の認証の全社での取得を目指して、早急な体制づくりを進めてまいります。

<今回の「ISO14001」認証取得内容>

【取得事業所】

取得事業所	住 所
本社	東京都豊島区東池袋 5-51-12
四季の森フォレオ店	神奈川県横浜市旭区上白根 3-41-1
かまた店	東京都大田区蒲田 5-47-7
佐知川店	埼玉県さいたま市西区佐知川 105-1
新志津店	千葉県佐倉市西志津 4-1-1
行徳駅前店	千葉県市川市行徳駅前 2-15-1

【審査登録機関】 株式会社 日本環境認証機構 (JACO)

【登録日】 2006年9月27日

◆ 「ISO14001」とは ◆

1996年に制定された環境マネジメントシステムの国際規格です。組織が、環境保全に配慮した活動を行っていくための仕組みを作り、その仕組みを維持改善していくための必要事項を定めています。この仕組みを運用することで、環境負荷の低減を目指しています。

◆ ご参考 ◆

[マルエツ環境方針]

マルエツは地域に密着したフレンドリーな「地縁ストア」として、持続可能な循環型社会実現のために、環境保全活動を積極的に推進し、汚染の予防と継続的改善に努めます。

1. 環境マネジメントシステムにより、あらゆる事業活動における環境負荷を最小限にするための仕組みを構築し、下記の通り重点的に取り組みます。
 - ① 環境に配慮した商品の開発と普及に取り組みます。
 - ② 省エネルギー・省資源を推進します。
 - ③ 最終的な廃棄物を削減するために3R [リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再生利用)]を推進します。
 - ④ 地域社会の環境保全活動を支援します。
 - ⑤ 地球温暖化防止のため、上記施策を推進し、CO₂換算による売場面積、営業時間あたりのCO₂排出量を削減します。
2. 当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
3. 具体的な環境負荷低減の目的と目標を設定し、定期的に見直します。
4. この方針を全従業員に周知徹底し、従業員一人ひとりが主体的に環境保全活動に取り組みます。
5. この方針は社内外に公表し、積極的な情報提供につとめます。

2006年8月29日
株式会社 マルエツ
代表取締役社長 高橋恵三

[マルエツの環境に対する主な取り組み]

<環境負荷削減>

- ・牛乳パック・食品トレイ・ペットボトル・アルミ缶の店頭リサイクル活動実施
- ・魚腸骨・廃食油・野菜くず等の廃棄物の削減および資源化の推進

<省資源・省エネルギー>

- ・レジ袋削減のための「お買物袋持参運動」の実施
- ・青果や惣菜・鮮魚のバラ販売等による包装資材の削減推進
- ・全社的なエネルギー（電気・ガス・水道）使用量の削減推進
- ・節水器・省エネルギー機器導入等による資源の節約

<社内リサイクルの推進と環境意識向上のための取り組み>

- ・古紙の分別回収によるリサイクルの実施
- ・レシート・チラシ等の再生紙利用

<環境配慮型商品の積極的な開発・販売>

- ・快適さと省資源・環境保全を考慮した当社開発商品の「HOME e X」の開発・販売、および詰め替え用商品の品揃えと販売。